安全データシート

改訂日：2025年4月1日

1. 製品及び会社情報

製品名	オレイルアルコール
推奨用途	試験研究用
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁眼3番11号
電話番号	(06)6231-3555（大阪・本社） (03)3246-2311（東京）　(0268)22-5910（上田） (052)504-2221（名古屋）(082)537-0290（広島）
整理番号	AE0167

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性	皮膚感作性：区分1

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語	警告
危険有害性情報	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
注意書き	【安全対策】 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 【応急措置】 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激又は発しんが生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 【保管】 容器を密閉し、涼しく換気の良いところで保管すること。 施錠して保管すること。 【廃棄】 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	オレイルアルコール
別名	9-オクタデセン-1-オール
化学式又は構造式	$CH_3(CH_2)_7CH:CH(CH_2)_7CH_2OH$
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN：143-28-2
成分及び含有量	–
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(2)-258/公表
その他	該当情報なし。

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師の診断／手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類を全て脱ぐ／取り除くこと。 皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	該当情報なし。
応急処置をする者の保護	該当情報なし。
医師に対する特別注意事項	該当情報なし。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火剤、泡末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂
使ってはならない消火剤	該当情報なし。
特有の危険有害性	該当情報なし。
特有の消火方法	消火活動は風上から行う。 周辺火災の時は、容器を安全な場所に移し消化に努める。
消火を行う者の保護	消火作業の際には必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置	適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させ 保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する。
環境に対する注意事項	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材	乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
二次災害の防止策	漏出物を回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気・全体換気）	局所排気又は全体換気の設備のある場所で取扱う。 取り扱う時は火気に注意する。
安全取扱い注意事項	取扱場所の近くに、緊急時に洗顔及び身体洗浄を行う為の設備を設置する。 取扱う時は適切な保護具を着用する。
接触回避	強酸、酸化剤との接触を避ける。
衛生対策	取り扱い後はよく手を洗うこと。

保管

適切な保管条件	直射日光を避け、容器は乾燥した涼しい場所に貯蔵し、密封する。火気に注意する。
混触危険物質	「10.安定性及び反応性」参照。
容器包装材料	ガラス等

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度等	
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
濃度基準値	8時間: 未設定 短時間: 未設定
設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。

保護具

呼吸器の保護具	適切な呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色～淡黄色
臭い	該当情報なし。
融点/凝固点	13～19℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当情報なし。
可燃性	該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	170℃
自然発火点	該当情報なし。
分解温度	該当情報なし。
pH	該当情報なし。
動粘性率	該当情報なし。
溶解度	不溶
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	0.000093 mmHg（25℃）
密度及び/又は相対密度	0.85g/cm³（25℃）
相対ガス密度	該当情報なし。
粒子特性	該当情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	通常の取り扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性	可燃性がある。
避けるべき条件	加熱、火気との接触、強酸化剤との接触
混触危険物質	強酸、酸化剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	経口: 該当情報なし。 経皮: 該当情報なし。 吸入: 該当情報なし。
皮膚腐食性・刺激性	該当情報なし。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	該当情報なし。
呼吸器感作性	該当情報なし。
皮膚感作性	化粧品や医薬品による接触皮膚炎が疑われる146名を対象に、脂肪族アルコールのパッチテストを実施した。その結果、23.2%（34名）が陽性反応を示し、特にオレイルアルコール（33名）への感作が多かったとの情報があるため、区分1とした。
生殖細胞変異原性	該当情報なし。
発がん性	該当情報なし。
生殖毒性	該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-単回ばく露	該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-反復ばく露	該当情報なし。
誤えん有害性	該当情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性	短期（急性）: 該当情報なし。

長期（慢性）:	該当情報なし。
残留性・分解性	良分解性
生態蓄積性	該当情報なし。
土壌中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号	—
品名（国連輸送名）	—
国連分類	—
容器等級	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送	航空法の定めるところに従うこと。
応急措置指針番号	—

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない
労働安全衛生法	名称等を表示し、通知すべき有害物に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
消防法	危険物に該当しない。

16. その他の情報

引用文献	HSDB: Hazardous Substances Data Bank NITE-CHRIP（製品評価技術基盤機構HP） 化学品安全管理データブック(化学工業日報社) GESTIS Substance Database

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。